参加のお申し込みは、以下の申込登録欄にご記入の上、FAX 又は郵便でお送りいただくか、以下の事項を E-mail でお申し込みください。
以下の弊財団ホームページからもお申し込みいただけます。

お問い合わせ・お申し込み先

〒213-0012
神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1　KSP 西棟 6 階

財団法人 神奈川科学技術アカデミー
イノベーションセンター　産学協働グループ

FAX : 044-819-2026

E-mail : pro@newkast.or.jp
URL : http://www.newkast.or.jp/

＜参加申込登録記入欄＞

会社名・機関名	
所在地(住所)	〒
TEL :	FAX :

〈申込者①〉

部署・役職 :	
氏名 :	
E-mail :	
交流会の出欠(3000円/人)　※どちらかに○をつけてください	参加する　・　参加しない

〈申込者②〉

部署・役職 :	
氏名 :	
E-mail :	
交流会の出欠(3000円/人)　※どちらかに○をつけてください	参加する　・　参加しない

※事前に参加登録証等はお送りしませんので、当日受付にお越しください。
※個人情報は、「財団法人神奈川科学技術アカデミー プライバシーポリシー」に従い適切に取り扱います。
http://www.newkast.or.jp/privacy_policy.html

交通のご案内

かながわサイエンスパーク (KSP)
神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1

電車利用の場合

- 最寄り駅
  東急田園都市線　溝の口駅（渋谷駅から約 20 分）
  JR 南武線　武蔵溝ノ口駅（川崎駅から約 20 分）
- 徒歩
  溝の口駅、武蔵溝ノ口駅から 15 分
- バス利用（溝の口駅、武蔵溝ノ口駅発）
  市バス（第三京浜入口行）高津中学校入口　下車徒歩 1 分
  東急バス（蟹ヶ谷行）高津中学校入口　下車徒歩 1 分
  バスターミナル（9 番乗り場）から KSP シャトルバス（無料）あり

自動車利用の場合

- 第三京浜道路　：京浜川崎インターから約 3 分
- 首都高速3号線：用賀インターから約 15 分
- 東名高速道路　：川崎インターから約 25 分

※駐車場有料（100 円／20 分）

(財)神奈川科学技術アカデミー(KAST)イノベーションセンター産学協働グループ
〒213-0012　川崎市高津区坂戸 3-2-1 かながわサイエンスパーク西棟 6 F
Tel.044-819-2031　Fax.044-819-2026

都市エリア産学官連携促進事業
(湘南・県央エリア)
「光機能材料を中心とした都市近郊環境対策技術の開発」
終了報告会

日　時

平成 18 年 3 月 8 日 (水)
13:30～17:50

会　場

KSPホール
(神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1 かながわサイエンスパーク西棟3階)

主　催：財団法人神奈川科学技術アカデミー (KAST)
共　催：神奈川県
後　援：文部科学省
参加費：無料 (交流会は会費制)

○ 基調講演
「ナノテクノロジー・材料の現状と将来」
独立行政法人　物質・材料研究機構　理事長　岸 輝雄 氏

○ 特別講演
「大気・水質汚染の現状と標準化等に向けた今後の法規制等の動向」(仮)
社団法人産業環境管理協会　常務理事　指宿 堯嗣 氏

○ 成果育成課題 研究報告
「太陽光と光触媒を用いた農業廃液浄化システムの開発」
研究リーダー　橋本 和仁
(東京大学先端科学技術研究センター所長／KAST グループリーダー)
「光機能材料を活用したシックハウス症候群物質などの簡易測定法の開発」
研究リーダー　鈴木 孝治
(慶應義塾大学理工学部教授／KAST グループリーダー)

神奈川県では、「光機能材料を中心とした都市近郊環境対策技術の開発」をテーマに、平成15年8月から2年8ヶ月間にわたり、文部科学省都市エリア産学官連携促進事業(成果育成型)を実施してまいりました。本事業では、本県が「環境共生モデル地域」と位置づけている＜湘南・県央エリア＞において、快適な都市生活環境の保全とそれらと調和する環境保全型農業等の実施を目指して、成果育成事業2課題と可能性試験を中心とした研究交流事業を展開いたしました。
この度、事業最終年度にあたり、3年間の事業及び研究成果を発表するため終了報告会を開催します。
加えて、第一線で活躍されていらっしゃる(独)物質・材料研究機構の岸輝雄理事長と(社)産業環境管理協会の指宿堯嗣常務理事をお招きして、本事業のキーワードである「環境」と「ものの作り」に関連する現状や今後の動向についての講演も予定しております。
皆様の多数のご参加を賜りたく、ご案内申し上げます。

プログラム

13:30　開会挨拶　財団法人神奈川科学技術アカデミー
　　来賓挨拶　文部科学省科学技術・学術政策局
　　神奈川県企画部

○ 基調講演

13:50「ナノテクノロジー・材料の現状と将来」　独立行政法人 物質・材料研究機構 理事長　岸　輝雄 氏

○ 都市エリア産学官連携促進事業(湘南・県央エリア)事業説明・報告

15:00　事業概要及び総括報告　事業総括／財団法人神奈川科学技術アカデミー 専務理事　石谷　炯

15:10　コーディネート活動報告　～「環境」と「ものの作り」をキーワードとした地域産学官連携基盤形成の現状と今後～
科学技術コーディネーター／財団法人神奈川科学技術アカデミー　田巻　一彦

15:25　今後の展開に向けた地域の取組み　～知に着目した新たな神奈川の科学技術振興～
神奈川県企画部政策課　牧野　義之

ポスターセッション　(15:35～16:00)

○ 特別講演

16:00「大気・水質汚染の現状と標準化等に向けた今後の法規制等の動向」(仮)
社団法人産業環境管理協会 常務理事　指宿　堯嗣 氏

○ 成果育成課題 研究報告

16:40　育成課題①「太陽光と光触媒を用いた農業廃液浄化システムの開発」
東京大学先端科学技術研究センター所長／ KAST 光科学重点研究室グループリーダー　橋本　和仁

17:15　育成課題②「光機能材料を活用したシックハウス症候群物質などの簡易測定法の開発」
慶應義塾大学理工学部教授／ KAST 光科学重点研究室グループリーダー　鈴木　孝治

17:50　閉　会
※報告会終了後、交流会を開催いたします。(会費3,000円)

ポスターセッション

【成果育成課題】

太陽光と光触媒を用いた農業廃液浄化システムの開発	神奈川県農業技術センター、東京大学先端科学技術研究センター、宇部日東化成株、盛和工業株、KAST
光機能材料を活用したシックハウス症候群物質などの簡易測定法の開発	慶應義塾大学、神奈川県衛生研究所、KAST

【平成17年度可能性試験】

分野1：環境浄化用光機能材料

二酸化チタンメソポーラスシリカナノ複合体光触媒コーティングの開発	慶應義塾大学理工学部 今井宏明

分野2：光機能材料等を用いた環境浄化技術

中空糸状多孔質膜を用いたフェノール系農薬の濃縮回収と光分解	神奈川工科大学工学部 菊地幹夫

分野3：光機能材料等を用いたセンシング技術

チキソトロピーゲルによる化学物質の簡易計測	神奈川工科大学工学部 斎藤　貴
デジタルスチルカメラを用いた高精度室内空気環境測定法の開発	東京工芸大学工学部 大場正昭

分野4：太陽光等新エネルギー関連技術

PbTe熱電材料の複合添加効果による高性能化に関する研究	神奈川大学工学部 米田征司
市街地における自律分散型太陽光風力発電のためのエネルギー平準化技術の開発	東京工芸大学工学部 松井幹彦
高品位CNT膜の創製と電気二重層キャパシタ等への応用	東海大学電子情報学部 庄　善之

分野5：環境調和型機能性表面関連技術

光触媒反応を用いる表面改質による液晶ポリマー(LCP)フィルム上への銅薄膜と銅電気回路パターンの形成	神奈川大学工学部 佐藤祐一・小早川紘一
グル表面の特異な構造を利用した新しい粘着方法の開発	横浜国立大学大学院環境情報研究院　鈴木淳史
3価クロム化成皮膜処理浴の長寿命化に関する研究	神奈川県産業技術総合研究所　川口明廣
カドミウムフリー銀ろう材の研究・開発	東海大学工学部 有賀　正
大気圧グロープラズマ法によるDLC膜形成のための実用技術の開発	慶應義塾大学理工学部 鈴木哲也
マグネトロンスパッタ法によるTiN及びTixAlySizN硬質薄膜製造技術の開発	青山学院大学理工学部 重里有三
電磁波透過型赤外線遮蔽ガラスの基礎的検討	横浜国立大学工学部 新井宏之

※平成15年度・16年度に実施した可能性試験のポスター(平成16年度成果発表会で発表)も併せて展示します。